



2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2023年11月7日

上場会社名 株式会社大阪チタニウムテクノロジーズ
コード番号 5726 URL <https://www.osaka-ti.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉崎 康昭

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 所 聡

TEL 06-6413-3310

四半期報告書提出予定日 2023年11月14日

配当支払開始予定日

2023年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	26,991	37.5	3,939	95.3	5,349	84.1	4,502	105.3
2023年3月期第2四半期	19,632	67.9	2,017		2,906		2,192	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	122.34	
2023年3月期第2四半期	59.59	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	90,694	34,056	37.6
2023年3月期	81,544	30,474	37.4

(参考)自己資本 2024年3月期第2四半期 34,056百万円 2023年3月期 30,474百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		10.00		25.00	35.00
2024年3月期		20.00			
2024年3月期(予想)				20.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	54,000	25.4	7,100	48.5	7,400	56.7	6,200	41.3	168.49

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 有

修正再表示 : 無

(注)詳細は[添付資料]P.7「(3)四半期財務諸表に関する注記事項(会計上の見積りの変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期2Q	36,800,000 株	2023年3月期	36,800,000 株
2024年3月期2Q	1,495 株	2023年3月期	1,495 株
2024年3月期2Q	36,798,505 株	2023年3月期2Q	36,798,635 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は、2023年11月27日(月)に証券アナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計上の見積りの変更)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8
3. その他	8
継続企業の前提に関する重要事象等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う行動制限緩和の進展から経済正常化や供給制約の改善など回復基調となりました。海外経済においても、全体的には各国で新型コロナウイルス感染症による国境封鎖の解除や行動規制の緩和が進展するなど、経済活動は回復の兆候が見られます。

しかしながら、国内においては円安影響も含めた資源や原材料価格の高騰、物価高によるインフレや人手不足の問題、海外経済でもロシアによるウクライナ侵攻影響の長期化や中国経済の減速が引き続き懸念され、金融引き締めによる景気下振れリスクもあり、先行きは依然として不透明な状況となっております。

当社を取り巻く事業環境について、チタン事業におきましては、ロシアによるウクライナ侵攻後の世界的なチタンのサプライチェーン再編の影響が継続する中、航空機需要は回復から成長軌道へ転換しており、スポンジチタンの需要は更に強まっております。一方で、高機能材料事業では、昨年秋からの半導体市場における調整局面は継続しております。

こうした中、当第2四半期累計期間の売上高は、26,991百万円（前年同期比37.5%増）、営業利益は3,939百万円（前年同期比95.3%増）、経常利益は5,349百万円（前年同期比84.1%増）、四半期純利益は4,502百万円（前年同期比105.3%増）となりました。

事業別は以下の通りとなります。

チタン事業

当第2四半期累計期間におけるチタン事業の販売は価格是正や数量効果が大きく影響し、航空機用途向けが主体である輸出スポンジチタンについては円安効果も加えて売上高が前年同期比52.6%増、一般産業用途向け主体の国内スポンジチタンも大幅に増加し、同39.1%増となりました。結果、チタン事業の売上高は25,694百万円（前年同期比47.6%増）となりました。

損益につきましては、販売、生産数量の増加と販売価格是正や操業改善といった収益改善や円安効果等により営業利益は4,098百万円（前年同期比139.0%増）となりました。

高機能材料事業

当第2四半期累計期間における高機能材料事業の販売は半導体関連のスパッタリングターゲット用高純度チタンの売上高が減少したこと等により、売上高は1,297百万円（前年同期比41.7%減）となりました。

損益につきましては、同製品の販売減影響が大きく営業損失は159百万円（前年同期は302百万円の利益）となりました。

(参考)

事業別売上高

(単位：百万円)

		当第2四半期累計期間	前年同期	増減率 (%)
チタン事業	国内	8,962	6,444	39.1
	輸出	16,732	10,962	52.6
	計	25,694	17,407	47.6
高機能材料事業		1,297	2,224	△41.7
合計		26,991	19,632	37.5

事業別営業利益

(単位：百万円)

	当第2四半期累計期間	前年同期	増減率 (%)
チタン事業	4,098	1,715	139.0
高機能材料事業	△159	302	—
合計	3,939	2,017	95.3

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

①資産

当第2四半期会計期間末の総資産の残高は、90,694百万円と前事業年度末と比べ9,150百万円増加いたしました。これは、有形固定資産が減少したものの売掛金及び棚卸資産が増加したことが主な要因であります。

②負債

当第2四半期会計期間末の負債の残高は、56,638百万円と前事業年度末と比べ5,568百万円増加いたしました。これは、短期借入金が増加したものの買掛金及び未払金並びに長期借入金が増加したことが主な要因であります。

③純資産

当第2四半期会計期間末の純資産の残高は、34,056百万円と前事業年度末と比べ3,582百万円増加いたしました。これは、四半期純利益により利益剰余金が増加したことが主な要因であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2023年5月12日公表の通期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日(2023年11月7日)公表いたしました「2024年3月期第2四半期業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

当事業年度の期末配当につきましては為替相場の動向等の不確定要素があることから、前回予想据え置きとさせていただきます。

また、2023年8月4日公表の「2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」にて報告いたしましたセグメント別の通期業績見通しにつきましても上記の通期の業績予想の修正に伴い修正が生じておりますので下記のとおり改めて報告いたします。

なお、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。

①2024年3月期 通期(2023. 4. 1～2024. 3. 31)

(単位:百万円)

セグメント		前回報告 (A)	今回修正 (B)	増減額 (B-A)
売上高	チタン事業	51,000	51,000	—
	高機能材料事業	3,000	3,000	—
	合計	54,000	54,000	—
営業利益	チタン事業	6,800	7,400	600
	高機能材料事業	△300	△300	—
	合計	6,500	7,100	600

②修正理由

売上高につきましては、チタン事業では輸出売上の一部が翌事業年度に持ち越しとなる見込みであり、高機能材料事業では半導体関連需要が調整局面にある影響で高純度チタンの販売環境の悪化が継続しているものの、為替前提を見直したこと等により前回予想値並みとなる見通しであります。

営業利益につきましては、第2四半期までの結果に加え、為替前提を見直したこと等によりチタン事業は前回報告に対し増益となる見通しであり、高機能材料事業は前回報告並みとなる見通しであります。

なお、2024年3月期第3四半期会計期間以降の為替水準につきましては1US\$=140円を前提としております。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,971	7,307
売掛金	16,139	23,230
商品及び製品	11,001	11,179
仕掛品	3,932	3,839
原材料及び貯蔵品	7,957	9,656
その他	205	229
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	46,205	55,439
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	8,755	8,555
機械及び装置（純額）	7,795	7,710
土地	14,823	14,823
建設仮勘定	1,324	1,281
その他（純額）	358	491
有形固定資産合計	33,058	32,863
無形固定資産	937	1,100
投資その他の資産	1,344	1,291
固定資産合計	35,339	35,255
資産合計	81,544	90,694

(単位：百万円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,730	5,906
短期借入金	16,000	11,500
未払金	159	3,704
未払法人税等	714	957
未払消費税等	—	475
設備関係未払金	902	487
賞与引当金	315	369
その他	330	464
流動負債合計	23,152	23,866
固定負債		
長期借入金	24,500	29,200
資産除去債務	1,515	1,527
退職給付引当金	1,833	1,974
その他	69	69
固定負債合計	27,917	32,772
負債合計	51,070	56,638
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,739	8,739
資本剰余金	8,943	8,943
利益剰余金	12,802	16,384
自己株式	△10	△10
株主資本合計	30,474	34,056
純資産合計	30,474	34,056
負債純資産合計	81,544	90,694

(2) 四半期損益計算書

(第2四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	19,632	26,991
売上原価	15,612	20,607
売上総利益	4,019	6,383
販売費及び一般管理費	2,002	2,444
営業利益	2,017	3,939
営業外収益		
受取利息及び配当金	6	33
為替差益	806	1,395
不用品売却益	112	73
受取賃貸料	19	23
その他	73	6
営業外収益合計	1,018	1,532
営業外費用		
支払利息	97	91
休止固定資産減価償却費	5	0
割増退職金	24	24
その他	1	5
営業外費用合計	129	122
経常利益	2,906	5,349
特別利益		
投資有価証券売却益	31	-
特別利益合計	31	-
特別損失		
固定資産除却損	41	26
減損損失	260	-
特別損失合計	301	26
税引前四半期純利益	2,637	5,322
法人税等	444	820
四半期純利益	2,192	4,502

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用)

年間の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。また、繰延税金資産の回収可能性の判断に関しましては、前事業年度に対し一時差異、経営環境等に著しい変化がある場合においてはその影響を加味しております。

(会計上の見積りの変更)

(退職給付に係る会計処理の数理計算上の差異の費用処理年数の変更)

退職給付に係る会計処理の数理計算上の差異の費用処理年数について、従来、従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数として13年で費用処理をしておりましたが、平均残存勤務期間がこれを下回ったため、当第1四半期会計期間より費用処理年数を11年に変更しております。

この変更が、当第2四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

(ウクライナ情勢の影響に関する会計上の見積りについて)

前事業年度末に行った、ウクライナ情勢の影響に関する会計上の見積りに重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	チタン事業	高機能材料事業	
売上高			
外部顧客への売上高	17,407	2,224	19,632
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	17,407	2,224	19,632
セグメント利益	1,715	302	2,017

(注) セグメント利益の合計額と四半期損益計算書上の営業利益とに差額は生じておりません。

当第2四半期累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	チタン事業	高機能材料事業	
売上高			
外部顧客への売上高	25,694	1,297	26,991
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	25,694	1,297	26,991
セグメント利益又は損失(△)	4,098	△159	3,939

(注) セグメント利益又は損失の合計額と四半期損益計算書上の営業利益とに差額は生じておりません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。